

中川村新たな学校づくりプロジェクトその2

教育委員会では、令和5年度に地区懇談会やグループワークを通じて地域のみなさんとの語り合いにより新たな学校のコンセプト（構想）を決定しました。令和6年度は中川村新たな学校づくり委員会を組織し、コンセプト（構想）に基づいて、新たな学校の基本計画策定に向けた詳細検討を進めていきます。

中川村 新たな学校のコンセプト（構想）※一部抜粋

中川村が目指す新たな学校の姿
美しい村・中川村を再発見し、自ら楽しみ、次世代につなげる「みんなの学校」

学校教育が目指す子どもの姿
自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む

目指す子どもの姿を実現するための教育

探究的に学ぶ ごちゃまぜに学ぶ

中川村全体を学びの場としてグローバルに学ぶ

目指す新たな学校の姿を実現するための仕組みとアクション

施設一体型の小中一貫教育校〈義務教育学校〉・
学校運営協議会〈文科型コミュニティスクール〉など

新たな学校の開校予定が 令和13年度になりました

新たな学校の校舎建築は、都市構造再編集集中支援事業の一環として実施する予定です。事業の要件となる立地適正化計画の策定に時間を要することから、新たな学校の開校予定を1年延ばし、令和13年度としました。

新たな学校の基本計画について、当初は教育内容と学校施設の検討を令和6年度の1年間で行う予定でしたが、令和6年度に教育内容、令和7年度に学校施設と2年間で検討を行うよう変更し、より丁寧な検討を進めていきます。

7月6日（土）

長野大学教授早坂淳氏講演会

今年2月のシンポジウムに引き続き、長野大学社会福祉学部教授早坂淳氏をお招きし、講演会を開催しました。

令和6年度の取り組みに先駆けての講演会ということで、新たな学校づくりに向け「大人に求められる変化」をテーマに、前半は「幸せとは何か」、後半は「自律とは何か」について講演をしていただき、講演に基づいた対話が出席者と行われました。講演では、『新たな学校づく



りを考えていくなかで、意見の深刻な対立もあるかもしれないが、同じ目的を共有しながら、違う意見を尊重し楽しむ「求同尊異^{きうどうそんい}」が大切である』ことが語られ、対話では出席者自身の体験を交えた活発な意見交換が行われました。

講演会のアーカイブは次の2次元コードからご覧いただけます。



講演会アーカイブ

7月11日（木）

第1回中川村

新たな学校づくり委員会

新たな学校の基本計画を策定する「中川村新たな学校づくり委員会」の1回目の会議を開催しました。委員会は小中学校長・PTA会長・保護者会長などで組織され2年間の任期となっています。最初の会議とな

るため委員へ委嘱状が交付され、委員長には早坂淳氏、副委員長には商工会会長の宮下進吾氏が選任されました。

前半は、片桐教育長から新たな学校づくりのこれまでの経過と今年度の見通しや進め方などについて説明があり、後半には、早坂委員長の講話と講話に基づいた対話が行われました。

対話の中で、新たな学校づくりへの意気込みなどが委員から語られ、短いながらも実り多い時間となりました。

これからの取り組み

今年度実施する教育内容の検討は、①9年間を一体化した教育カリキュラムの編成、②「ふるさと中川学（仮称）」の創出、③文科型コミュニティスクールの導入の3つのテーマについて部会に分かれて詳細検討を行います。検討には、6月19日の教育委員会定例会で承認された部会公募委員6人（若者枠3人、一般枠3人）も参加します。

さらに、小中学校児童生徒会の正副会長7人で組織する子ども部会を立ち上げ、子どもたちからの意見も積極的に取り入れていきます。

教育委員会総務学校係

Tel 88-11005